

東京都知事

小池百合子様

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の
早期実現について（要望）

令和4年1月27日

瑞穂町
瑞穂町議会

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の

早期実現について（要望）

大寒の節、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素、瑞穂町の行政運営につきまして、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

瑞穂町では、殿ヶ谷、箱根ヶ崎駅西の2地区の土地区画整理事業等による商工業・居住施設の誘導とともに、新青梅街道拡幅再整備事業に伴う沿道の都市計画の変更と地区計画の決定、さやま花多来里の郷をはじめとした観光施策の充実などにより、定住及び交流人口の増加を図っています。

さて、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸は、東京都を中心に検討の深度化が図られていましたが、令和元年12月に公表された「未来の東京」戦略ビジョンにおいて、多摩・島しょ振興戦略「多摩・島しょの交通ネットワークの強化」として強力に推進されることとされました。また、令和2年度にはモノレール基本設計（2北北ー多摩都市モノレール（上北台～箱根ヶ崎））業務委託契約が締結され、延伸への大きな一歩を踏み出させていただきました。

令和3年度東京都予算においても、モノレールの整備の予算約2.5億円が計上されました。町も、多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面への延伸は、多摩地域の軌道系交通ネットワークが充実し、多摩地域の発展に大きく寄与するものと確信しています。また、交通利便性が格段に向上することにより、新たな人の交流を生むとともに、環境負荷の低減にもつながります。町では、平成30年度に東大和市、武蔵村山市と合同で策定した「モノレール沿線まちづくり構想」により、

区画整理に加え、公共施設、産業支援及び新たな産業育成のゾーン形成の具体化に向けた検討業務を開始しました。今後、更なる交通需要の増加につながる沿線の都市基盤整備を進めるため、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸に向けて共に取り組むことで、導入空間に沿って、新たな産業の進出可能性を高めるものと期待しております。

このほか、令和2年11月8日に「モノレールを呼ぼう瑞穂の会」が会員数1,224人で正式発足いたしました。東京都のモノレール基本設計着手についても、喜びの声が多く寄せられており、町全域において、早期の延伸実現への期待が高まっています。

このことから、早期実現について、引き続き強力に推進されることを要望いたします。

令和4年1月27日

東京都西多摩郡瑞穂町

瑞穂町長 杉 浦 裕 之

瑞穂町議会

議 長 古 宮 郁 夫

瑞穂町議会交通対策特別委員会

委 員 長 小 山 典 男